



征討御會議之圖

鹿兒島縣士族西郷隆盛准新
以降陸軍大將一任一勳王の士
一と板垣等と共に征討の論を
主張し、義勇に決り、其の先鋒
木戸の請ひ等之を奉告し、陸軍
其非くそいふを怒り、見物と
去り私字號を設け生徒と名を
て兵士を募り、其の無本無量と
爲す之に依り官有物庫の方を
開き、會黨を組織し、其の民
衆に有松川二品親王城仁公を
以て征討總督に任ぜし、西郷
隆盛の國家の事なるを、聖上の
宸機を悟り、奉りて、その征討
名を天下に傳へ、其の
勢ひなき大軍とすべしや

三好重臣

大木商任

伊藤博文

大隈重信

大隈重信

大隈重信
長崎 西郷
大隈重信

品親王有栖川

野津鎮雄

岩倉具視

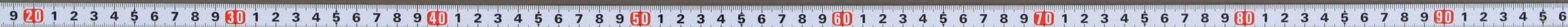
山路利良

寺島宗則

揚洲齋所周延

伊藤博文

大隈重信



征討御會議之圖

鹿兒島縣士族西郷隆盛、准新
以降陸軍大將に任じ勤王の士あり
しが板垣知常等と共に征韓の論を
主張し議殆ど決りし時、岩倉大久保
木戸の諸氏等之を非議し隆盛
其非くせりまゝを怒り鹿見島に
去り私学校を設け生徒を名とし
て兵士を募り終に熊本鎮臺を
襲ふ之を依て官省勅奏の方々
廟堂に會議す朝廷も深く萬民
の難苦を憂慮ありせしれ諸氏と
議し有栖川二品親王、織仁公を
以て征討總督に任ぜりと嗚呼西郷
隆盛の國家の罪人なるや、聖上の
宸襟を悩ませ奉るのこゝろに逆賊の
名を天下萬世に顯したるは、實に
憐むべき次第ありしや

太政大臣
東宮從位 三條實美



參議陸軍中將兼關防
正四位 黑田清隆

參議兼司法卿
長崎 正四位 大木喬任

陸軍少將
山口 正五位 三好重臣

參議兼三浦縣實業司
山口 正四位 伊藤博文





一品親王有栖川織仁



參議兼内務卿
鹿島從二位 大久保利通
參議兼大藏卿
長崎 正四位 大隈重信





一品親王有栖川織仁

右大臣
從五位上
野津鎮雄

右大臣
從五位上
岩倉具視

從五位上
川路利良

從五位上
寺嶋宗則

從五位上
西郷從道

全陸軍中將
山口
從五位上
山縣有明

揚洲
周延
壽

田
彰
工
仙

明治十一年
六月
十日
西工
橋本直義
野元
山本利兵衛

池田
伊勢利

